

地域医療連携室 「連携医とつどう会」開催報告

交流会を開催し、多くの先生方にご参加いただきました

2016年6月23日(木)に連携医の先生方との交流を目的に、「第1回 神鋼記念病院 連携医とつどう会」を開催しました。当日は30名の連携医の先生方にお越しいただき、院内の医師を含め82名の参加者で交流会を行いました。参加いただいた先生方には改めて御礼申し上げます。

毎年10月に「神鋼記念病院地域医療連携交流会」という名称で地域の医療機関の先生方との交流会を開催していますが、今回更なる顔の見える連携を行うために「連携医とつどう会」の開催を企画しました。

紹介患者さんのその後を報告

交流会では新しい試みとして、連携医の先生方から紹介していただいた患者さんが、当院でどのような診療を行ったかの症例報告を神経内科と脳神経外科で行いました。

神経内科部長の松本 真一より「顎、舌の不随意運動で摂食困難なため精神的に不安になり紹介いただいた1例」を報告し、ジストニアの病態と治療について説明しました。頻繁にある症例ではありませんが、不随意運動診療の特徴を知っていただく上で有意な症例であると考えたため、今回の症例を選定しました。

次に脳神経外科部長の上野 泰より「くも膜下出血 発見の難しい微小出血(minor leakage)の一例」の報告をしました。今回の症例の紹介元である吉野脳神経外科クリニックの吉野 英二先生と島田 憲二先生に紹介時の患者さんの状況を説明していただきました。CTでは顕著な出血がなく、くも膜下出血か判断が難しい症例でありましたが、微小出血があることを発見されくも膜下出血の診断で当院へ紹介していただきました。的確な診断であったため、当院で早急に対応することが出来た症例でした。また、今回の様にCTでの判断が難しい場合でも、くも膜下出血の特徴である、殴られたような激しい頭痛・首の後ろのこわばり・嘔吐等が見られた場合は、直ぐに専門医へ紹介して欲しい旨を

お伝えしました。

循環器内科の 取り組みについて講演

講演は循環器内科医の本庄 友行より「神鋼記念病院循環器内科の取り組み」という演題で、スタッフ構成の紹介、心筋シンチ、心臓CT、心エコーなどの画像診断を専門的に行っていること、心不全治療にも注力していること、当院で行っている冠動脈単純CTや心臓リハビリ、研究発表の取り組み等の紹介をしました。冠動脈単純CTは石灰化スコアをもとに、日本人1万3千人のデータと照らし合わせて冠動脈疾患の有病率を算出できることをご紹介しました。講演を聞かれた先生の中には「造影剤を使わず、この位の検査で自分の冠動脈疾患のリス



Medical News

2016年8月
Vol.110

Shinko
Hospital

Contents

- *特集 [地域医療連携室「連携医とつどう会」開催報告]
- *感染症科医のつぶやき
- *開業医探訪「高村クリニック」
- *講演会のご案内

神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して、皆様に愛される病院を目指します。

基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救命医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47
TEL: 078-261-6711 (代表)
FAX: 078-261-6726
URL: <http://www.shinkohp.or.jp/>
発行責任者: 理事長 山本 正之
編集責任者: 神鋼記念病院広報委員長 山神 和彦

講演会などの
詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院

検索

<http://www.shinkohp.or.jp/>

第21回研究カンファレンス(個の医療研究会共催)

参加費
無料

消化器と幹細胞 ～次世代の抗がん治療を目指して～

京都大学大学院医学研究科 消化器内科学講座

教授 妹尾 浩 先生

8/25 (木) 18時00分～19時00分

- ◆ 場 所: 神鋼記念病院 呼吸器センター 5階 大会議室
(神戸市中央区脇浜町 1-4-47 TEL: 078-261-6711)
- ◆ 参加方法: 当日直接会場にお越しください
- ◆ その他: 日本医師会生涯教育講座 1単位申請しています
- ◆ お問合せ先: 神鋼記念会総合医学研究センター
担当: 兒山 TEL078-261-6711(病院代表)

【講演内容】

消化器領域の診療は、診断、治療デバイスの進歩、分子標的薬、免疫抑制薬の普及、ウイルス性肝炎の薬物療法など、急激に進歩しています。他分野でも、免疫チェックポイント阻害薬の登場や、iPS細胞を用いた再生医療の試みなど、昨日まで研究の世界に留まっていたコンセプトが、次々に実現しつつあります。そのようななかで、近未来につながる(かもしれない)領域のひとつとして、消化器癌と幹細胞の関わり、治療への応用について紹介します。

Info
1

神鋼糖尿病セミナー

- ◆ 日 時: 2016年9月8日(木) 19時00分～20時30分
- ◆ 場 所: 神鋼記念病院 呼吸器センター5階 大会議室
(神戸市中央区脇浜町 1-4-47 TEL: 078-261-6711)
- ◆ 講演1: 「2型糖尿病におけるSGLT2阻害剤の体重減少効果について」
演者: 上野内科・糖尿病内科クリニック 院長 上野 尚彦 先生
- ◆ 講演2: 「糖尿病と心不全」
演者: 神戸大学大学院医学研究科 内科学講座
循環器内科学分野 講師 田中 秀和 先生
- ◆ その他: 日本医師会生涯教育認定講座 1.5単位申請
- ◆ お問合せ先: 神鋼記念会 地域医療連携センター 担当: 浅田 TEL: 078-261-6711

Info
2

第11回若手臨床研究発表会(個の医療研究会共催)

- ◆ 日 時: 2016年9月29日(木) 18時00分～19時00分
- ◆ 場 所: 神鋼記念病院 呼吸器センター5階 大会議室
(神戸市中央区脇浜町 1-4-47 TEL: 078-261-6711)
- ◆ 講 演: 「IgG4関連疾患の画像診断」
演者: 神鋼記念病院 放射線診断科 医長 大木 徳高
- ◆ その他: 日本医師会生涯教育認定講座 1単位申請
- ◆ お問合せ先: 神鋼記念会 総合医学研究センター 担当: 兒山 TEL: 078-261-6711

クが分かるのであれば、是非検査を受けてみたい。」との声もありました。

冠動脈単純CTの予約を地域医療連携室から取れるようになりましたので、腎機能が低下しているが冠動脈疾患が疑われる患者さんや、無症状でも脂質異常症・高血圧症・糖尿病・喫煙などのリスク因子が複数ある患者さんのスクリーニングが必要な際はいつでもご紹介下さい。

先生方との交流の場として

先生方のご紹介では、お越しいただいた30名の先生方を司会者より一人ひとり紹介させていただきました。

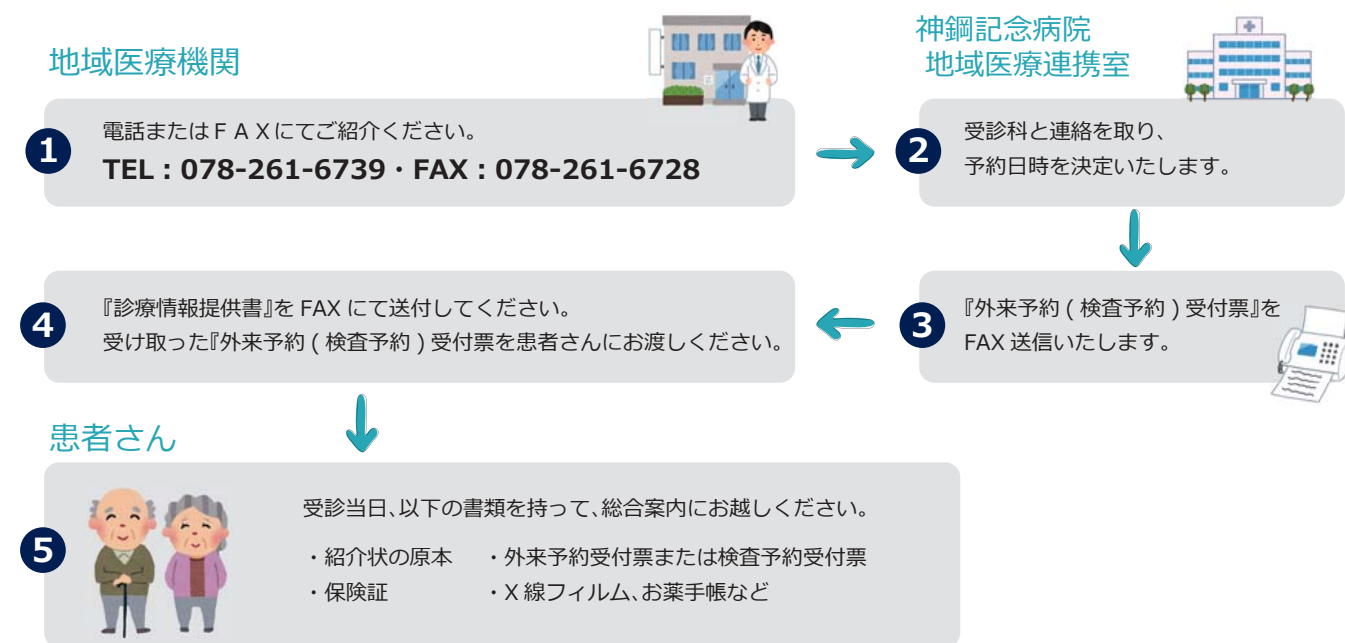
た。院内の新任医師22名は一人ずつ自己紹介を行いました。新任医師の自己紹介を通じて、名前と顔が一致するきっかけとなったのであれば幸いです。

この度の交流会では、講演終了後に懇親会等を開催せず何のおもてなしも出来ませんでした。交流会を通じて地域の医療機関の先生方と当院の医師が顔を合わせる機会を作り、継続して顔の見える連携を強化していきたいと思っています。次回は10月に「平成28年度神鋼記念病院地域医療連携交流会」の開催を予定しています。神鋼記念病院の取り組みのご報告と、忌憚

のないご意見、ご要望をいただける意見交換の場を設けたいと思っていますので、是非ご参加をお願いいたします。

最後になりますが、神鋼記念病院は、「困った時にこそ頼られる病院」をスローガンに日々地域の医療機関の先生方からのご紹介をお受けしています。このスローガンを実践することで、このスローガンが私達だけのものではなく、地域の方々にも認知していただき「困った時にこそ頼りになる病院」と思っただけのよう邁進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

紹介患者さんの受診・検査の事前申し込みフロー



連絡先・受付時間

※ 時間外は078-261-6711【代表】までお問合せ下さい

外来予約・検査予約・各種お問い合わせ

月～金曜日 8時30分～19時00分
土曜日 8時30分～12時00分
TEL : 078-261-6739 (直通)
FAX : 078-261-6728

救急受診・転入院お問い合わせ

月～金曜日 8時30分～17時00分
TEL : 078-261-6927 (直通)
FAX : 078-261-6728

Infectious Disease Vol. 15 感染症科医のつづやき

【抗菌薬を適正に使用するには？】

抗菌薬を適正に使用するには、「①診断すること、②非感染症も常に鑑別に挙げること、③『感染症＝抗菌薬』という思い込みを捨てること、④適切な抗菌薬を選ぶこと、⑤用法用量と治療期間を適切に設定すること」の5つのポイントに注意する必要があるとお話しました。さて、ここで問題です。①～⑤の中で最も大事なものはどれでしょうか？

「結局、適切な抗菌薬を選べばいいんでしょ？だから④！」と考えられた方が多いのではないのでしょうか？正解は①です。診断が間違っているのに適切な抗菌薬を選ぶことは絶対にならないからです。診断が正しければどのような治療をすればいいか医学書

で調べられますし、専門の医師に相談することも出来るのです(例：髄膜炎→神経内科医)。

テニスに例えるなら、診断はサーブ、抗菌薬はスマッシュです。どんなにスマッシュが上手でもサーブが入らなければ試合では負けです。どんなに抗菌薬の知識が豊富でも診断出来なければその知識は全く役に立たないのです。

したがって、例えば、感冒・咽頭炎・急性喉頭蓋炎・気管支炎・肺炎の違いがあやふやであれば、抗菌薬について勉強しても得るものは少ないこととなります。抗菌薬の使い方を勉強する前に、診断のしかたを勉強するべきなのです。

開業医探訪
inquires into a doctor
Vol.28

【内分科・外科、乳腺外科】
高村クリニック

今回は、JR灘駅ビルクリニックモール内にある甲状腺・乳腺疾患が専門の「高村クリニック」に訪問いたしました。

■ 診療を開始されてどれくらいになりますか？

2013年のJR灘駅ビルクリニックモール開業と同時に、11年間在職した隈病院外科を退職し診療を開始しました。今年で3年目になります。

■ どのような患者さんが来院されますか？

甲状腺疾患は女性に多いのが特徴です。乳腺疾患の診療も行っているため、9対1の割合で女性の患者さんが多く来院されます。年齢層は10～70歳台と幅広く、阪神間を中心に和歌山など遠方から来られている方もおられます。最近では、インターネットで調べて来院される方も多くおられます。

■ 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

甲状腺疾患は分かりにくい分野ですので、できる限り分かりやすい説明を心がけています。乳腺疾患の患者さんについては当院で細胞診ができますので、がんの疑いの有無を調べることが可能です。不安を抱えて来られているので、じっくり時間をかけて少しでも不安を取り除けるように努めています。

■ ひとこと

甲状腺疾患や乳腺疾患について、患者さんは基幹病院を受診する傾向にあります。当院としては、地域の医療機関と連携をとりながら、手術などが必要な患者さんは基幹病院に治療をお願いし、継続フォローの必要な患者さんについては当院で加療ができればと考えています。

information

□ 神戸市灘区岩屋北町7丁目3番2号
JR灘駅ビル3階

□ TEL : 078-862-9966
□ 診療科：内分科・外科、乳腺外科
□ 休診日：水曜日・土曜午後・日祝日
□ 診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:30～12:30	○	○	×	○	○	△
14:30～18:30	○	○	×	○	○	×

※ 土曜日は14時までです
※ 乳腺診察は午後診のみです

